

経営比較分析表（平成28年度決算）

福岡県 岡垣町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	67.18	4.19	100.00	3.090

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,153	48.64	661.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,347	0.59	2,283.05

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

分析欄

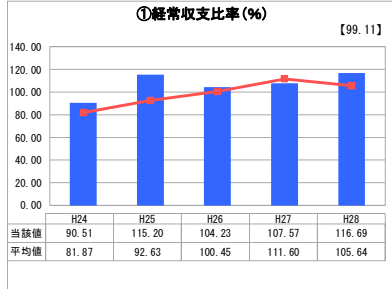
1. 経営の健全性・効率性について

平成17年4月に地方公営企業法を適用し、事業経営の健全化と経営基盤の強化を図った。
平成18年4月に事務事業の効率性と職員削減による人件費の軽減を図るため、水道課と下水道課の組織の統合を行った。
平成22年4月に経営基盤の強化を図るため、下水道使用料の改定をし収益の確保を行った。
平成25年度から当年度純利益が発生し、累積欠損金の解消に努めているところであるが、類似団体と比較して累積欠損金比率は高く、経営の健全化に課題があると言える。
今後も長期的な財政計画の下、経費の節減に努めるとともに、公共下水道への接続を行うことで経営状況の改善を図る。

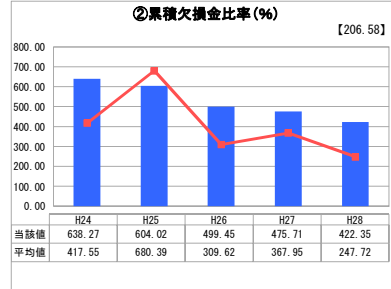
2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業においては、平成8年度からの事業着手のため、経年劣化した管はない。しかし、硫化水素により劣化したマンホールがあり、今後も計画的にマンホール更生を進めていく。

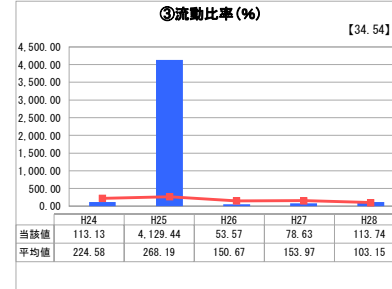
1. 経営の健全性・効率性



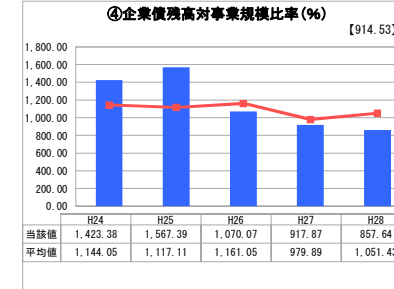
「経常損益」



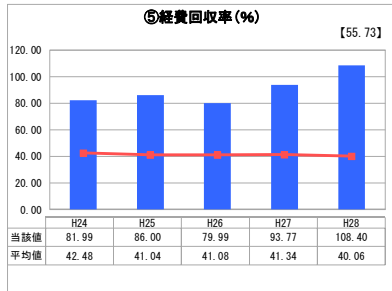
「累積欠損」



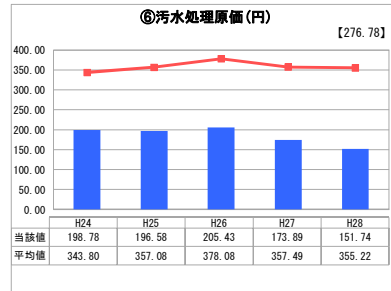
「支払能力」



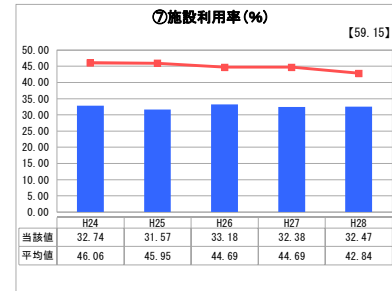
「債務残高」



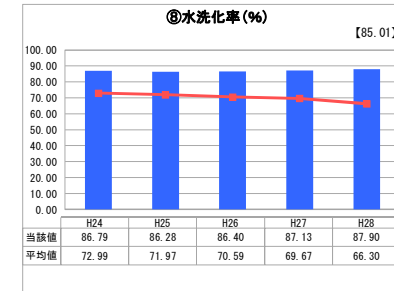
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

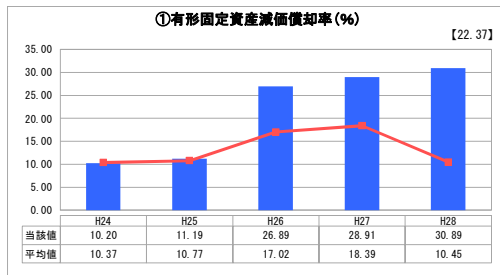


「施設の効率性」

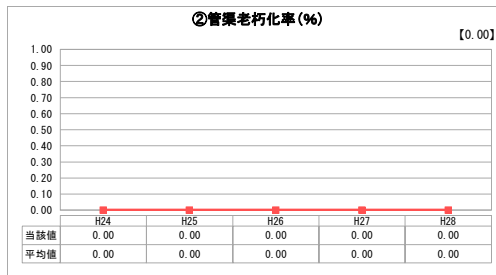


「使用料対象の捕捉」

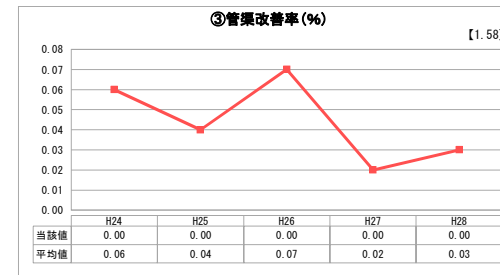
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

全体総括

農業集落排水事業は、平成8年度に事業着手し、平成14年4月に供用開始、現在、建設事業は完了し維持管理へ移行している。
一般会計からの繰入金により当年度純利益が発生している状況で、類似団体と比較しても累積欠損金比率は高く、経営状況は非常に厳しいと言える。
公共下水道への接続を行うことで、維持管理費用の削減を行い、経営状況の改善を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の実績を基に類似団体平均値を算出しています。